

# Tongaliワーク 情報編 使い方

## 1. 本教材のねらい

- ・「情報 I」の学習指導要領では目標として、問題の発見・解決に向けて情報技術を効果的に活用するための資質・能力の育成が掲げられている。
- ・社会の課題を発見し解決していくという起業家（アントレプレナー）の思考・行動プロセスは「情報 I」の目標と重なる。
- ・以上より、本教材では、情報技術を活用した課題解決を目指す起業家（アントレプレナー）へのインタビュー動画を視聴することで、起業家が有する資質・能力（アントレプレナーシップ）に触れ、「情報 I」の目標達成を目指す。

### 第1 情報 I

#### 1 目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

出所：高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章第10節情報 第2款第1 情報 I

## 2. 本教材の構成

- ・本教材は、1コマ（50分）で活用できる教材である。
- ・別添のワークシートを活用しながら、(i)インタビュー動画の視聴→(ii)情報技術を活用した課題解決策の検討→(iii)授業の振り返りという3段階で構成されている。

インタビュー  
動画



### Tongaliワーク 情報編①



#### 株式会社ユーザベース

#### 代表取締役 Co-CEO/CTO 稲垣 裕介さん

愛知県出身で高校までを岡崎市で過ごす。2008年に起業し、経済に関するニュースなどを提供する「NewsPicks」などを運営している。

経済に関するニュースを提供するメディア「NewsPicks」の事例を通じ、社会における情報の価値について考えることができる。

### Tongaliワーク 情報編②



#### Adora株式会社

#### 代表取締役社長 富田 直人 さん

「世界中の子どもたちの未来を明るく」をミッションに、子どもに関する社会課題の解決を目指すアプリ開発を行っている。

富田さんの原体験や実際の課題解決事例を通じて、情報を用いた社会課題の解決について考えることができる。